

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

浪 速 区 に 来 て 3 0 年
～C型肝炎とともに～

城 村 尚 登

(わかこうかいクリニック 院長)

区医だよりの依頼があったのが、2020年7月で、大学を卒業して浪速区に来て29年が過ぎ30年目に入る頃でした。それまで、浪速区といえば年末に父親と電気製品（確かテレビだったと思いますが）を買いに来たぐらいのイメージしかありませんでした。その私が、昭和63年に見つけられ、大学病院で治療をして初めてC型慢性肝炎の治療薬として認められたインターフェロン治療が保険適応となったのに伴って、検査・治療のために若弘会病院（今は、わかこうかいクリニックになっています）に派遣され、浪速区にくることとなりました。当時は今と異なって電気屋さんが多数ありましたが、パーソナルコンピュータの普及が始まった頃で、C型慢性肝炎の治療も今とは異なって、肝生検（当院では超音波映像化でしていましたが）という肝臓に針を刺して肝臓の炎症を確認してから（活動性肝炎あると確認してから）でしかインターフェロン治療ができず、またそのインターフェロン治療も90%以上の確率で、発熱、頭痛等の副作用を認め1か月足らずの入院と6か月の通院を必要とした上に、治癒率20%ぐらいというものでした。そのあと、老人特例許可病床を届け出して、ケアミックスの状態で高齢者医療にも関係することとなり

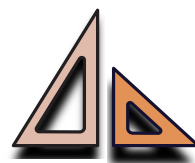
ました。次にきたのが、今では当たり前になっている院外薬局で、1996年（平成8年）に院外処方箋発行を開始しました。この頃になると電気屋さんはつぶれ、いまでは上新電機とヤマダ電機ぐらいになり、代わりに出てきたのがオタク系の店（メイド喫茶など）で、いまでは3月に（ことしはコロナ禍のため中止となりましたが）堺筋を閉鎖してコスプレの多数の人にあふれかえています。この頃からC型慢性肝炎を取り巻く状況も変化していき、活動性肝炎以外にもインターフェロン治療が適応になり、肝生検が必要ではなくなり、治療もインターフェロンとリバビリンの併用療法が主となり、貧血の副作用が認められるようになりました。2005年には特別・特定医療法人になり、2009年には社会医療法人に認定されましたが、2009年には、若弘会病院は廃止され、わかこうかいクリニックが開設されました。そして、DAA（Direct-acting antiviral agents）が開発され、インターフェロンとの併用療法で治癒率は向上しました。そして遂に2014年9月にインターフェロンとは併用されない、内服単独のDAAが保険認可されました。最初は副作用が軽減されるのだろうな程度に考えていましたが、使用す



るとこの内服薬の良く効くことに驚かされ、また次から次に開発される内服薬が、欠点であった耐性の問題を解決するとともに、治療期間も6か月から2か月まで短縮されました。ただ、治療費(薬代)が高価なため肝炎の助成制度が必要になっていますが、90%以上の患者さんがウイルス消失となる時代になっています。ただ、ウイルス消失した患者さんも、肝臓癌の発生率がウイルス持続感染者よりは低くなりますが、ウイルス非感染者よりは高くなるため3～6か月に1回の検査が必要になります。それでも、わたしが浪速区にきた30年前に比べると劇的に改善しています。いまは訪問診療も含めて頑張っています。よろしくお願いします。



理事会報告



◎令和2年度8月定例理事会

日 時 令和2年8月28日(金)

午後8時～8時51分

場 所 WEB 会議システム (Zoom)

協議事項

1. 大阪府医師会医学会評議員の推薦について
＜有田会長＞
府医より標記評議員の推薦依頼があった。
任期は、令和2年6月25日～令和4年6月の府医定例代議員終結時までで、前期は久保田副会長であった。

協議の結果、久保田副会長に決定。

2. 浪速消防署の産業医について
＜徳田副会長＞
浪速消防署より産業医の推薦依頼があった。
就任は10月1日からである。

協議の結果、会員よりFAXにて公募することに決定。

3. その他
なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について
(8月28日(金)) ＜有田会長＞
 - ▷開会
 - ▷会長挨拶
 - ▷連絡事項
 - (1) 新型コロナウイルス感染症対策の件
 - (2) 令和2年国勢調査協力(依頼)の件
 - (3) 令和2年「医療施設静態調査」「患者調査」「受療行動調査」協力(依頼)の件
 - (4) 9月度行事・会合日程の件

- ▷協議
- ▷閉会

(詳細 略)

2. 自立支援型ケアマネジメント検討会議について

(8月20日〈木〉) <有田会長>
次第は次のとおり。

- ▷出席者の自己紹介
- ▷検討会議の趣旨について
- ▷守秘義務について
- ▷検討事例
- ▷まとめ

(詳細 略)

3. 産業医部会委員会について

(8月5日〈水〉) <木田理事>
次第は次のとおり。

- ▷開会
- ▷挨拶
- ▷令和元年度事業報告に関する件
- ▷令和2年度事業計画に関する件
- ▷役員選出に関する件
- ▷その他

(詳細 略)

4. その他 なし。

次回理事会

令和2年9月14日〈金〉午後8時～
(WEB)



10 月度学術講演会のお知らせ

10月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：令和2年10月17日〈土〉

午後2時～4時

場所：一般社団法人浪速区医師会 会議室

演題：「実地臨床での喘息吸入療法 Up Date

～ Evidence と Experience から考察する
Best Practice in 2020 ～」

講師：北野病院

呼吸器内科部長

丸毛 聡 先生

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。

なお、今回はWEBでの開催を予定しております。ご参加希望の方は、事前にお申込みいただきますようお願いいたします。

医師年金のおすすめ

医師には医師専用の 「医師年金」があります

医師年金
検索
http://nenkin.med.or.jp/

医師年金について詳しく知りたい	医師年金ホームページをご覧ください。 または、下記までお問い合わせください。 公益社団法人 日本医師会 年金・税制課 TEL: 03-3942-6487 (平日9時半～17時)
受取年金額を知りたい	医師年金ホームページでご加入時の受取年金額のシミュレーションができますのでお試しください。 <医師年金ホームページトップページ> シミュレーション
日本医師会に入会したい	入会手続きは、所属医療機関のある市区医師会を通じて行いますので、直接お問い合わせください。 <small style="color: red;">医師年金は「日本医師会会費」で、「64歳6ヶ月未満」の方がご加入いただけます(お申込みは64歳3ヶ月まで)。</small>

20171101S10

浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 からのお知らせ

8月の相談件数は4件でした。在宅医師、歯科医師の紹介と新型コロナウイルスの対策に関する問い合わせでした。コロナもさることながら猛暑による熱中症で多くの方が亡くなっています。まだまだ暑さが続くようですのでくれぐれも水分補給などを十分にしてください。

在宅医療、介護において何か困ったことや問い合わせ等ありましたらご連絡ください。よろしくお願いします。



相談受理実績

■ 個別ケースに関する相談（R02.8月度）

① 医科	0件
② 歯科	0件
③ 薬局・薬剤師	0件
④ 病院 地域連携相談室	2件
⑤ 訪問看護	1件
⑥ 介護支援専門員	1件
⑦ 地域包括支援センター	0件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	0件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	0件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0件
⑫ 区民	0件
⑬ その他（ ）	0件
合 計	4件

■ 相談内訳（重複有）

① 医 療	① 診療所・医師に関して	0件
	② 訪問診療できる医療機関に関して	1件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	0件
	④ 歯科に関して	1件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	0件
	⑥ 訪問看護に関して	0件
	⑦ 医療の手続きに関して	0件
	⑧ その他（ ）	1件
② 介 護	① ケアマネに関して	0件
	② 地域包括支援センターに関して	0件
	③ 介護事業所等に関して	0件
	④ 介護の手続きに関して	1件
	⑤ その他	0件
	③ 退院支援に関して	0件
	④ 看取りに関して	0件
	⑤ その他（内容： ）	0件
	合 計	4件

＜お問合せ＞ 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル50B
TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058



浪速区医師会 活動の伝言板

令和2年10月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3歳児健康診査

●保健福祉センター

10月22日(木)午後1時40分～3時30分

小児科 橋村 夏野子

小児科 木村 暢佑

眼科 山尾 信吾

耳鼻科 大野 聡史

1歳6ヶ月児健康診査

●保健福祉センター

10月1日(木)午後1時40分～3時30分

小児科 川田 信哉

小児科 鈴木 晶子

BCG接種

●保健福祉センター

10月15日(木) 午後2時～3時30分

本田 秀明・北村 栄作

急病診療所出務

●中央急病診療所

10月15日(木) 深夜22:00～30:00

久保田 泰弘

10月31日(土) 準夜15:00～22:00

中山 博文・西平 香代



ドクターのあらゆる要望にお応えします。



大阪府医師協同組合

Osaka Medical Cooperative Association

[本部] 大阪市中央区上本町西 3-1-5 〒542-8580
TEL 06-6768-2071(代) FAX 06-6768-2012

[南部出張所] 堺市堺区甲斐町東 3-2-26 堺市医師会館 1F 〒590-0953
TEL 072-223-6081(代) FAX 072-223-5094

さまざまな事業を展開しています。

詳しくは



医 業

医療機器、医療消耗品からクリニック開業支援まで、医療に関する幅広いサポートを行っています。

- 医療用品通販カタログ「GoDs」
- 最新医療機器カタログ「ME GUIDE」
- 医療機器のリース・無金利分割販売
- 最新医療機器展示会、セミナー・実技講習会



く ら し

趣味や教養を深めるイベントから旅行、住まいのご相談まで、皆様のプライベートを応援。

- JAPAN DOCTOR'S CARD
- 書籍販売サイト「KNOWLEDGE WORKER」
- ドクターズツアー、パッケージツアーの割引特典
- イベント・各種セミナーの開催



保 険

医療とくらしを取り巻くさまざまなリスクに備え、充実のラインナップをご用意しております。万一の事態に備える保険に、団体・集団扱いの割安な掛け金でご加入できます。

- 損害保険
- 生命保険



あとがき

藤吉 理夫

コロナウイルス第2波の中まだまだすっきりしませんが、皆さまお変わりありませんでしょうか。

巻頭言で城村先生が浪速区に来られて30年とのこと、1990年からですね。自分の事を思い出したら、父から医院を継承したのが1990年でした。先生と浪速区で同期です！

C型肝炎は昭和63年に見つけられたということを読んで、そういえば自分が研修医時代は輸血後肝炎とかnonAnonBと呼んでいたことを思い出しました。C型肝炎の治療と若弘会病院の沿革を読み、私も色々なことを思い出しました。インターフェロンは患者さんがしんどい割には治癒率が悪かったことやリビリンの併用で貧血になっている患者さんのことなど。今は内服薬で副作用なくほぼウイルスが消失するとはすごい進歩ですね。若弘会病院、クリニックには非常にお世話になってきました。ありがとうございます。城村先生、今後も肝炎治療、訪問診療とよろしく願いいたします。

この冬、発熱、感冒患者さんへの対応が難しいです。

①電話・オンライン診療をするか、基本は診ない
②時間的か空間的隔離をして診察するが、感染を生じる可能性がある検査はしない
③時間的か空間的隔離をして診察してフルPPEで検査もする
になるかと思います。実際、空間的隔離は通常のクリニックではまず困難です。時間的隔離になると思いますが、予約制にしても突然やって来たり、通常外来が延長して発熱外来に重なってしまう可能性がありますので難しいですね。

発熱外来を病院にお願いするか(大正区で病院の外来を診療所 Dr が日替わりで出務し

ている例があります)、診療所が輪番制で、ある日の午前診を発熱外来にするなど考えられますが、それぞれの事情もありますからね。頭が重いですが最近の情報として、今シーズン南半球ではインフルエンザがほぼ流行していないとのこと。ワクチン接種、3蜜回避、マスク着用、手洗いなどの影響でしょうか、日本でも同様のことが起きるかもしれません。そうなる現状程度で推移することになりますね。

次期総理大臣は菅さんになりそうですが、医療ではオンライン診療を恒久化、不妊治療を保険診療にということを挙げておられます。オンライン診療については現状の点数や条件で続くのか、変わるのか、いずれにしても流れとしてはその方向になりますね。11月からはLINEが参入しますから、患者さんにとってはとっつきやすくなると思います。でもLINEに国民の色々なデータを持っていかれてどうなんだという気持ちもあります。

不妊治療を保険診療にするのは賛成です。私の周りにも何人も治療をされていた方がいますが、非常に高額なので続かない方がいました。保険適用の詳しい制度設計はこれからで年齢や費用などの『線引き』はあると思いますが、妊娠・出産の可能性が高まるような仕組みになれば良いですね。

目 次

ページ

巻 頭 言

浪速区に来て30年～C型肝炎と共に～

城村 尚登 1

理事会報告(8月開催) 2

10月度学術講演会のお知らせ 3

浪速区在宅医療・介護連携相談支援室からのお知らせ 4

浪速区医師会活動の伝言板 5

あとがき 6

【区医だより】

発行者 有田繁広

編集者 中村泰久 山本大介

印刷所 株式会社 サ ビ